

どうして？
みずたま せかい
水玉の世界

くさまやよいびじゅつかん
草間彌生美術館へようこそ！



びじゅつかん い ぐち みずたま み
美術館の入り口にも、水玉が見えますね。
み
見つけられるかな・・・？

くさまやよい みずたま さくひん
草間彌生さんは水玉の作品をたくさんつくっています。
きょう みずたま かんが
今日は、この「水玉」について考えてみましょう。

① ^{くさま}草間さんはいつから^{みずたま さくひん}水玉の作品をつくっているのでしょうか？



キキョウ
《無頭》(1939)

これは、10才くらいのときに描いた絵です。
ひょっとしたら、みなさんと同い年かもしれませんね。

この絵に描かれている人はだれなのでしょう？
かみが長くてお着物を着ています。お母さんかな？
みなさんも、家族やお友達など、身近な人の絵を描いたことがあるかもしれませんが、この絵には少し不思議なところがありますね。

かお かみ け きもの まわ
顔や髪の毛、着物、周り・・・
すべてが ^{みずたま}水玉 でおおわれています。

なぜ、このような絵を描いたのでしょうか。

かのじょ ちい へやじゅう からだじゅう みずたま
彼女は小さいころ、部屋中、身体中が水玉におおわれてしま
う幻を見ていたといえます。

この絵は、幻をみた体験を思わせます。
草間さんは、^{まぼろし}幻に描くことで、^{おそ}恐ろしさや^{おどろ}驚きをしずめていました。

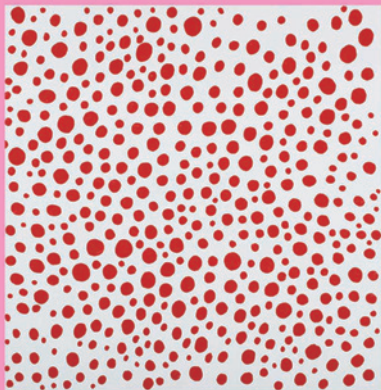
せかいじゅう ^{みずたま}に ^{さくひん}
世界中をおおう水玉から逃げるのではなく、それを作品にして
いきました。

^{さくひん}作品にすることで、^{みずたま}水玉は草間さんにとって、^{たいせつ}大切なもの
になっていきました。

② いろいろな作品の水玉をみてみましょう！

かいが
絵画

いろいろな大きさの水玉があるね



(天空の果てに住みて) (2016)

大人の身長より大きなサイズの作品です。

草間さんが、大きなキャンパスにひとつひとつ水玉を描いているところを想像してみましょう。

ちょうこく
彫刻

草間さんはかぼちゃの作品もたくさんつくっているよ



(PUMPKIN) (2015)

いろいろな色の水玉があるね

銀色に光るかぼちゃの彫刻です。
前に立つと自分の姿が水玉の間に映って見えます。

インスタレーション

モノだけでなく、
空間全体が作品になってしまうのが
インスタレーションです。



村上隆 (Takashi Murakami)
《水玉強迫》(2015)

よくみるとふしぎな形が見えてきませんか？

中に何があるのかわからないくらいすべてが水玉
でうめつくされています。

パフォーマンス

自分も周りも水玉だらけ・・・

ざっきみた10才のころの絵
に似ているね



(Self-Obliteration by Dots) (1968)



作ったモノだけでなく、作家自身が動いて見せる
こと自体が作品になります。この写真は、その
作品の様子を記録したものです。
壁や自分の体に水玉をはることで、周りとの
区別がなくなっていく。

③ ^{くさま}草間さん ^{じしん}自身は ^{みずたま}水玉について、
^{なん}何 ^いと言っているのでしょうか？

^{さくひん}作品にこめられた ^{いみ}意味を、^{さっか}作家の ^{ことば}言葉から ^{そうぞう}想像してみましょう。

^{いっこ}「一個の ^{みずたま}水玉である ^{じぶん}自分の ^{せいめい}生命を見たい。」

「^{ピカソ}ピカソでも ^{マチス}マチスでも ^{なん}何でもこい。

^{わたし}私は ^{みずたまひと}この水玉一つで ^{たむ}立ち向かってやる」

^{むげん}『無限の網 ^{あみ} 草間彌生 ^{くさまやよいじでん}自伝』より

^{くさま}草間さんにとって ^{みずたま}水玉は、^{じぶんじしん}自分自身でもあるのかもしれませんが、^{げいじゅつか}芸術家として、^{みずたま}水玉に ^{つよ}強い ^{おも}思いをこめていることが伝わってきます。

^{びじゅつかん}この美術館では、^{さくひん}たくさんの作品をみることができます。
^{くさま}草間さんは ^{きも}どんな気持ちでそれぞれの ^{さくひん}作品をつくったのでしょうか？

^{いっしょ}ぜひ、一緒に ^き来た人 ^{ひと}とお話 ^{はな}ししてみてください。